

国際交流基金アジアセンター

The Japan Foundation Asia Center



国際交流基金アジアセンターについて

絆をつなぎ、アジアの未来をつくる。

国際交流基金アジアセンターは、日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流を通じて、アジアの絆をつないでいます。

国の枠を超えて、心と心がふれあう文化交流事業を行い、アジアの豊かな未来を創造します。

多様性の中の調和と共生

アジアの多様な文化とアイデンティティを尊重した双方向交流を推進し、アジアに共に生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。



アジアをつなぐ人材育成

アジアの国々をつなぎ架け橋として、様々な背景をもつアジアの人々と共に学びあい、認めあうことができる人材を育成しています。



Photo: Kenichi Tanaka

アジアセンターの2つの事業領域

2つの事業領域を柱に、幅広い分野にわたる双方向の文化交流事業を展開しています。

1 日本語学習支援 [日本語パートナーズ派遣事業]

東南アジアの中学・高校などへ“日本語パートナーズ”を派遣し、日本語の授業のアシスタントや日本文化の紹介を行うとともに、現地の言語や文化を学び、アジアの架け橋となる人材を育成しています。



2 芸術・文化の双方向交流

美術、映画・映像、舞台芸術、スポーツ、市民交流、知的交流など、さまざまな分野でアジアの人々の交流活動を促進しています。双方向性と協働性を重視し、共にアジアの新たな文化を創造しています。



PRATTHANA - A PORTRAIT OF POSSESSION
Photo: Sopanat Somkhanngoen

アジアセンターの設立背景

2013年12月
日・ASEAN 特別首脳会議において、アジアの国々が「心と心のパートナー」として共に生きることを目指す新しいアジア文化交流政策「文化のWA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～」が発表されました。

2014年4月
「文化のWA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～」の実施のため、国際交流基金にアジアセンターが設置されました。



2013年12月 日・ASEAN 特別首脳会議（東京）
（写真提供：内閣広報室）



ASIA IN
RESONANCE
響きあうアジア
2019

響きあうアジア 2019

日本と東南アジアの文化交流事業を幅広く紹介する祭典

「響きあうアジア 2019」を開催しました。

2019年までの相互交流事業の成果を振り返り、日本と東南アジアの国々との関係をさらに深めるための起点として幅広いイベントを展開しました。

日本語学習支援「日本語パートナーズ派遣事業」

互いに学びあう。だから深まる。

東南アジアの中学・高校などへ、日本語パートナーズを2023年までに3,000人派遣します。

日本語の授業のアシスタントや日本文化の紹介を行うとともに、現地の言語や文化を学び、アジアの架け橋として活躍しています。

7年間で
日本語パートナーズを
2,375人派遣



178万人
に裨益※1



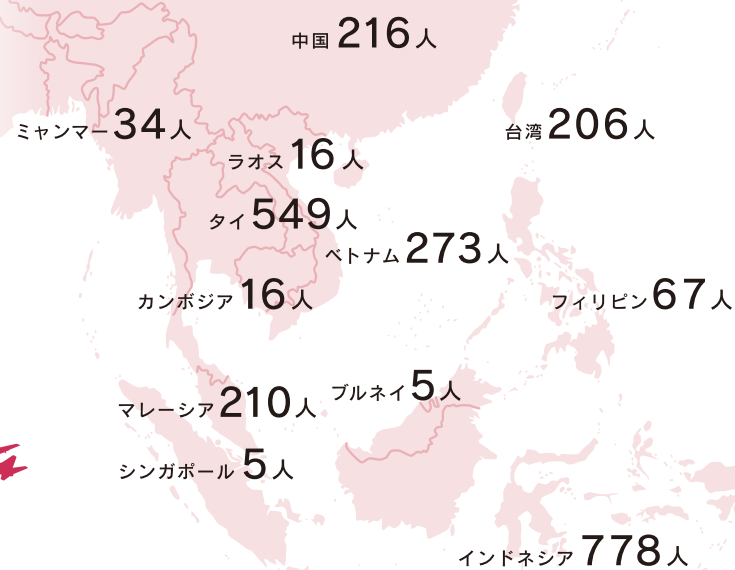
日本語履修者数が
派遣校の
39.5%
で増加※2



日本語パートナーズの活動を
派遣校の
98.8%が
高評価※2



日本語授業数が
派遣校の
19.5%
で増加※2



(2014年度～2019年度実績/2020年度は派遣実績なし)



85万人にのぼる日本語学習者

世界中の日本語学習者のうち約1/4が東南アジアの中学・高校生です。いつか留学や仕事で日本を訪れ、母国と日本の架け橋になることを夢見る生徒たちは東南アジアで計約85万人にのぼります。



生きた日本語

教室の中でも外でも、日本語ネイティブのパートナーズだからこそ、教科書に載っているものだけではない、生きた日本語、リアルな日本を伝えることができます。



年齢も経験も多様な参加者

専門的な知識がなくても、特技のある方、人生のキャリアを積んだ方、アジアとの交流に熱意を持った方などがそれぞれの強みと経験をいかして活躍しています。



学びあうことで生まれる深い絆

日本語や日本文化を伝えるだけではなく、派遣先では現地の言葉と文化を学びます。相手への敬意をもって対等な立場で交流することで現地の人との絆が深まります。

日本語パートナーズは活動終了後も、アジアでの生活経験や語学力をいかし、国内・海外で活躍を続けています。



教師の経験をいかし、退職後に新たな活躍の場を発見
.....
高杉 昌明さん
タイ サムットプラカーン
活動期間：2016年5月～2017年3月

元小学校長の高杉さんは、退職後、日本語パートナーズとしてタイで活動。派遣期間中はこれまで培った教師としてのノウハウをいかし、教壇に立つことの充実感を再び味わうことができました。現在はカンボジアの教員養成校で、教育アドバイザーとして新たな人生を歩んでいます。



日本語パートナーズで変わった日本語教師の心構え
.....
平 彩奈さん
カンボジア プノンベン
活動期間：2017年10月～2018年7月

日本国内で日本語教師をしていた平さんは、東南アジアの日本語教育の現場を知るために日本語パートナーズに。帰国後も再び日本語教師として活躍しています。パートナーズの経験を経て、以前よりも学生に寄り添って指導ができるようになり、大きなやりがいを感じています。

※1 裨益者数：パートナーズから日本語の指導を受けた学習者数及びパートナーズによる日本文化紹介等に参加した人数

※2 2019年度中に帰国した日本語パートナーズの派遣校を対象にした調査結果

芸術・文化の双方向交流

感性の共鳴は、国境を越える。

美術、映画・映像、舞台芸術、スポーツ、市民交流、知的交流など、さまざまな分野において交流事業を実施し、たくさんのアジアの人々が参加しました。双方向性と協働性を重視し、各々のアイデンティティと多様性を尊重しあい、共にアジアの新たな文化を創造しています。

7年間で
芸術・文化双方向
交流事業を
2,504件
実施



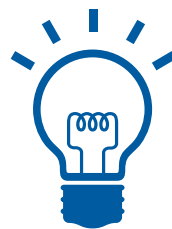
7年間で
芸術・文化双方向
交流事業に
約**554**万人
が参加



来場者・参加者の
96.7%が
「有意義な事業」と評価※1



来場者・参加者の
89.9%が
「日本への理解が
深まった」と回答※2



「日本映画祭」を
12か国で
52.3万人
が鑑賞※3



東京で開催した
「サンシャワー：東南アジアの
現代美術展」に
35.4万人
が来場



サンシャワー：東南アジアの現代美術展

1980年代以降の東南アジアにおける現代アートを、国立新美術館と森美術館において、史上最大規模で紹介しました。



東南アジアとのサッカー交流『ASIAN ELEVEN』

日本からの指導者派遣や選手の相互交流を通じて、アジアのサッカー界のレベルアップに貢献しています。



東京国際映画祭 x アジアセンター連携映画交流事業

アジアの才能を海外へ発信することを目的に、東南アジア映画の特集上映、アジア映画関係者の招へい、オムニバス映画「アジア三面鏡」の製作を行いました。



日本・ASEANメディア・フォーラム

第一線で活躍する日本と東南アジアのジャーナリストが幅広い課題について討論を行いました。

日本でも、アジアでも、実際に人と人が触れあうことで、お互いに刺激しあえる新たな輪が生まれ、広がっていきます。



伝統芸能を継承する
同世代との交流で、
自身の意識も変化

.....
佐々木 一磨さん
アジアと東北を芸能で繋ぐ
「Sanriku-Asian Network Project」

東北の伝統芸能「鹿踊り」を継承し、活動を続ける佐々木さんは、この事業でバリ島へ派遣され、インドネシアで伝統芸能を継承する同世代の若者と交流。彼らの姿勢を肌で感じたことで、佐々木さん自身の意識も変わり、鹿踊りによって震災後の復興に立ち向かう気持ちを新たにしました。



日本への訪問が、
イスラムを異なる視点から
考える契機に

.....
モナリザ・アダム・マンゲレンさん
東南アジア若手スリムリーダーとの交流
「TAMU/Talk with Muslims」

フィリピン国内におけるイスラム社会の理解促進に取り組むマンゲレンさんは、「TAMU」事業で来日。日本在住のムスリムや学生との交流や神社などへの訪問を通して、現代的な暮らしと伝統が共存する日本に、異なる文化や価値観を認めあう多文化共生に向けた鍵を見出しました。

※1 2019年度実施主催事業の来場者・参加者を対象にした調査結果
※2 2019年度国外実施主催事業の来場者・参加者を対象にした調査結果
※3 2016年度～2020年度の累計値



Photo: Hideto Maezawa



@Tiny Toones in Phnom Penh, Cambodia



Photo: Yuki Ida



Photo: Kenichi Tanaka



ASIA center

JAPAN FOUNDATION 

国際交流基金アジアセンター
The Japan Foundation Asia Center

<https://jfac.jp/>



☎ +81-(0)3-5369-6025

📠 +81-(0)3-5369-6141

✉ acinfo@jpf.go.jp

 /jfasiacenter/

 /jfnihongopartners/ (日本語パートナーズ)

 /jfasiacenter/

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-4 四谷クルーセ
YOTSUYA CRUCE, 1-6-4 Yotsuya, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0004